

平成27年度「みえの現場“やっぱし”すこいやんかトーク」(紀宝町)の概要

平成27年10月22日(木)に、紀宝町役場で、「みえの現場“やっぱし”すこいやんかトーク」を開催しました。

当日は、紀宝町の商業活性化のために平成23年から活動を続けています『紀宝町商業活性化委員会』の関係者の皆さん」8名に、活動のやりがいや課題などについてご意見などをお伺いしました。



【参加者からの発言】

代表から、団体の活動について紹介をしていただいた後、メンバーの皆さんから、普段の活動や仕事内容などを含め、自己紹介をしていただきました。

(活動紹介)

○紀宝バイパスの開通を機に、新しい道路を活かした旧市街地の活性化をしようと、平成24年度から、月1回「紀の宝みなと市」という朝市を開催したり、道の駅ウミガメ公園を利用して「ミニ朝市」を月1回開催している。

また、観光客に旧市街地にも立ち寄りいただけるよう、国道とバイパスの分岐点に市街地誘導看板を設置した。

Q 紀宝町商業活性化委員会の活動をしていて良かったこと、楽しいこと、やりがいなどについてお聞きしたい。

○みなと市に来てくれる人たちが楽しんでくれており、高齢者が集まる場所ができたことがよかった。人と人のふれあっている姿、月1回みなと市で会えることを楽しみにしている様子を見ることが楽しみである。

- ボランティアで参加してくれる人が増えているなど、連帯感ができたように感じている。
- みなと市では振る舞い鍋を担当している。振る舞い鍋の内容でお客様の反応が色々違うので、毎回鍋の内容を工夫するのを楽しんでいる。これまで、35回開催しているが、これからもずっと続けていけると思っている。
- みなと市において、お客さんとコミュニケーションがとれることが楽しい。みなと市を訪れた人が、地元の商店や食堂に立ち寄りられたりしているので、地元にも効果があると思う。
- 大勢の人が集まるので、モチベーションが上がる。こういった人が集まるイベントを実施していきたい。
- みなと市に参加することで、知り合いが増えたことがうれしい。
- 違う世代の人たちと一緒に働く機会をもてたことがよかったと思っている。固定客ができてくるとうれしい。

Q 活動における課題や地域の抱える課題などについて、広くお聞きしたい。

- みなと市では、取れたての新鮮で安全安心な食品を購入できることがお客さんにとっては一番の魅力であるが、農産物や魚は、季節によって品数が左右される。販売する品物が足りないようなときがあるので、他の地域からの出店を促進するなど対応策を考える必要がある。
- みなと市への若い世代の参加が少ないので、地元の魚のおいしい食べ方の説明会や試食会を実施するなど、工夫して開催していきたい。
- 地域で還流する経済をめざして、地元の商店、地元の建築業者の利用を促進するため、今後もさまざまな取り組みを進めていきたい。
- 熊野川の上流にはダム湖が11個あり、老朽化しているため濁水を流している。沖合に沈殿していて、波が起きると磯が埋められて、大変困っている。県の協力もお願いしたい。
- 完全三重県産の交雑種の牛が来月でき上がる。東紀州全体で通じる名前を付けて県内外へと売り出していきたいので、販売戦略を模索している。
- 熊野まで高速道路ができたことにより、道の駅ウミガメ公園は日帰り客が増えたが、駐車場が狭く入れずに帰ってしまうお客さんがたくさんいる状態である。防災拠点としても活用できるので、1日も早く駐車場が拡張されるよう願っている。
- 地元の食材を仕入れて販売しようと思っても農業や漁業をはじめとして、豆腐屋、卵屋など、後継者がいなくて廃業されている。若い人がこの町に定住するまちづくりに力をいれていただきたい。

【知事の発言】

- 世代を超えて働く場は少なくなっているが、みなと市は先輩から色々と教えてもらうこともできる場にもなっていることもすばらしい。
- 地域で経済が還流すれば、安定的な仕事や働く場が地域でできるので、人口流出を防ぐことにつながる。地域の建設業の皆さんが災害の時などに地域に貢献して

いることなどを広報していくことなどにより、地元事業者の活用促進に協力していきたい。

○三重県でも特にこの4月から東京に移住センターを作り、移住促進に取り組んでいるが、相談のなかでも一次産業は結構人気がある。繋いだ人たちが定住につながるような取組みを紀宝町さんと一緒にやっていきたい。

○繁殖牛を確保する対策は県でも行っているが、畜産クラスターを応援する予算なども議論の最中なので、必要に応じて情報提供させていただく。若き畜産農家としてこれからもがんばってほしい。

○濁水の件については、今までも国土交通省へお願いしている。今後も引き続き国や関係者に働きかけるとともに、今後も漁を安定して行える環境づくりに努めていきたい。

